子どもたちのために生きた人生

エグランタイン・ジェブ物語







Eglantyne Jebb: a life dedicated to childhood

Text: Mónica Rojas.
Illustrations: Iván Reséndiz, Rafael González, Rosa María Campos, Ulises Ríos.
Edition: Azucena García.
Design: Patricia Arellano.

Save the Children Mexico / Switzerland 2019

CC BY NC SA

“子どもたちは誰もが、
この世界を立て直す力を
持っているのです”
–エグランタイン・ジェブ



私の話を読み始める前に、大人の人に頼んで、
ろうそくに火を灯してもらいましょう。



炎を見つめてください・・・それでは、世界の暗闇を
照らしたあかりのお話を始めましょう。



私は1876年8月25日に、イギリスにある美しい邸宅で生まれました。
そして5年後の1881年3月3日に、
私の生涯の仲間となる妹のドロシーが生まれました。



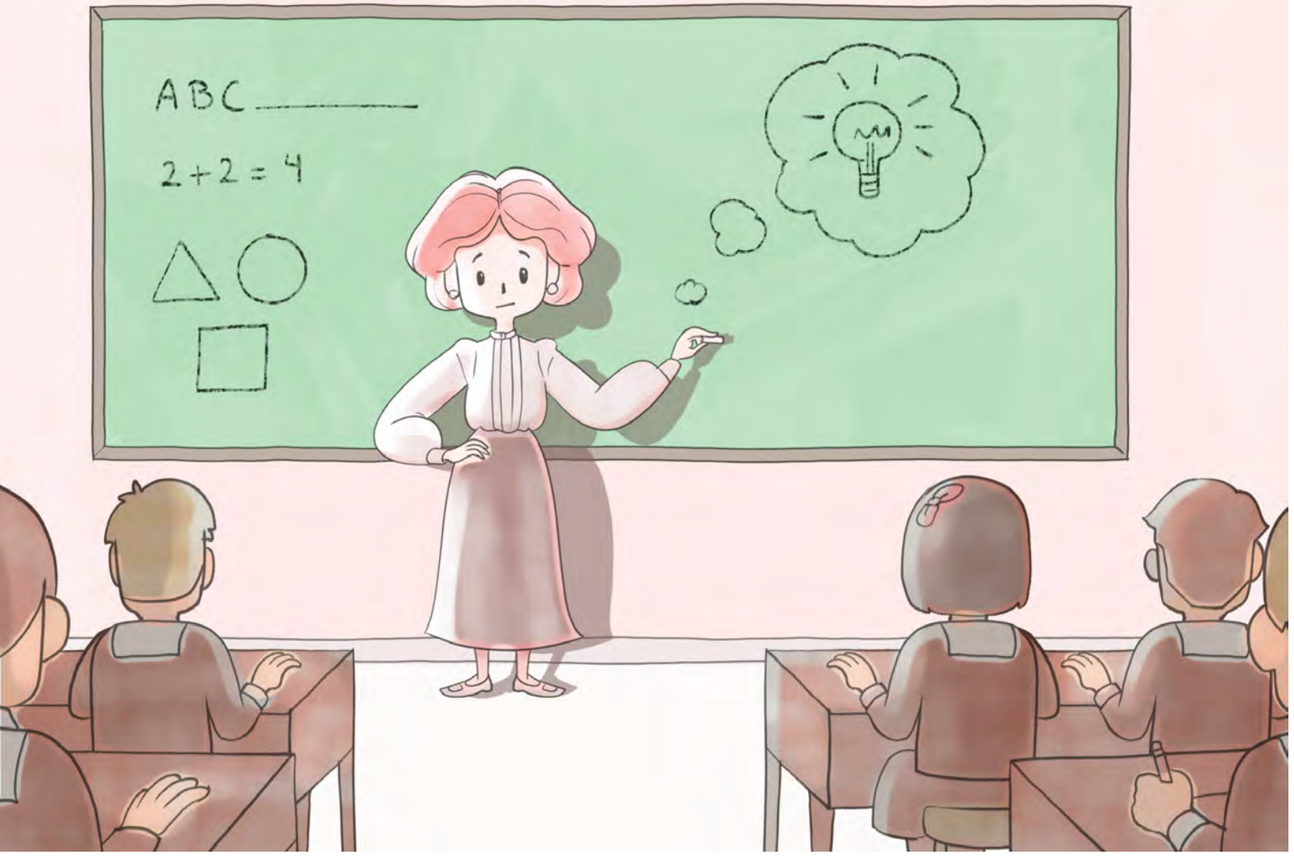
私の両親のアーサーとエグランタイン・ルイーザは、
人を助けることに高い関心がありました。
母は、地域の人たちに家政学と手芸を教える活動を始め、
法律家である父は、地元の問題に積極的に関わっていました。



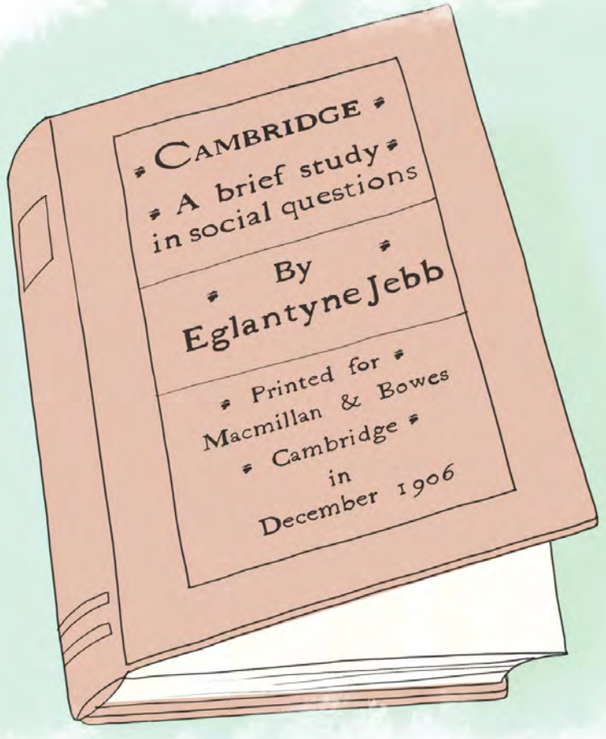
私には５人のきょうだいがいました。そして乗馬、水泳、
ボート遊びと読書が大好きでした。幸いなことに、楽しい
子ども時代を送るために必要なすべてのものに恵まれていたのです。



19歳の時、オックスフォード大学で学ぶ機会を得て、
歴史を勉強しました。しかし、私の進路は子どもたちと
繋がっているべきだと思い、教師になることにしました。



思い切った決断でした。教師はとてもやりがいのある仕事で、一生懸命努力しました。
しかし、私のしていることが、貧困家庭で暮らす私の生徒たちの生活を、
本当に改善することができるのか、私には分かりませんでした。
もっと何かしたかったのです。最も困っている子どもたちの生活に、
どうすれば本当の変化をもたらすことができるのか自分自身に問いました。



私は、イギリスのケンブリッジにある慈善団体の会員になることにしました。
そこで、町の貧困について調査をして本を書きました。
調査から、私はいくつかの考えを持つようになりましたが、
その一つが、子どもは少なくとも 14 歳になるまでは、学校に通うことが
大切であるということでした。





その頃バルカン戦争が勃発し、1913年に支援活動に参加しました。
病気になったり怪我をした何千人もの難民が、
一杯のスープをもらうためだけに長い列をなして待っているのを、
自分の手で助けたかったのです。
もはや遊んだり笑ったりすることもなく、がれきとなった
自分の家を思って泣いている小さな子どもたちの悲しい顔を見て、
私は強い衝撃を受けました。
子どもたちの顔が私の心に焼き付いたまま、
平和で静かなロンドンの自宅に戻りましたが、
何もせずにはいられませんでした。



戦争の被害にあった人を助けるための募金活動を始めましたが、
期待した成果は上がらず、とても悲しい思いをしました。
妹のドロシーは、私の心の痛みと子どもたちへの想い、そして
この状況を変えたいという私の願いを共に感じてくれました。

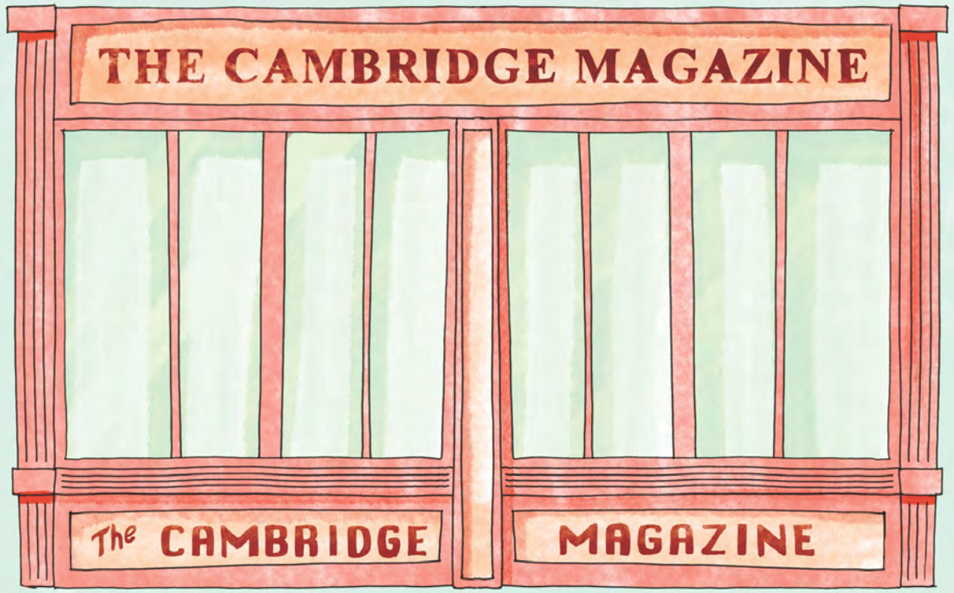
1914年に第一次世界大戦が起こり、さらに深刻な状況になりました。
このような恐ろしい世界を前にして、
一人の人間に何ができるのでしょうか。この先の見通しは真っ暗でした。





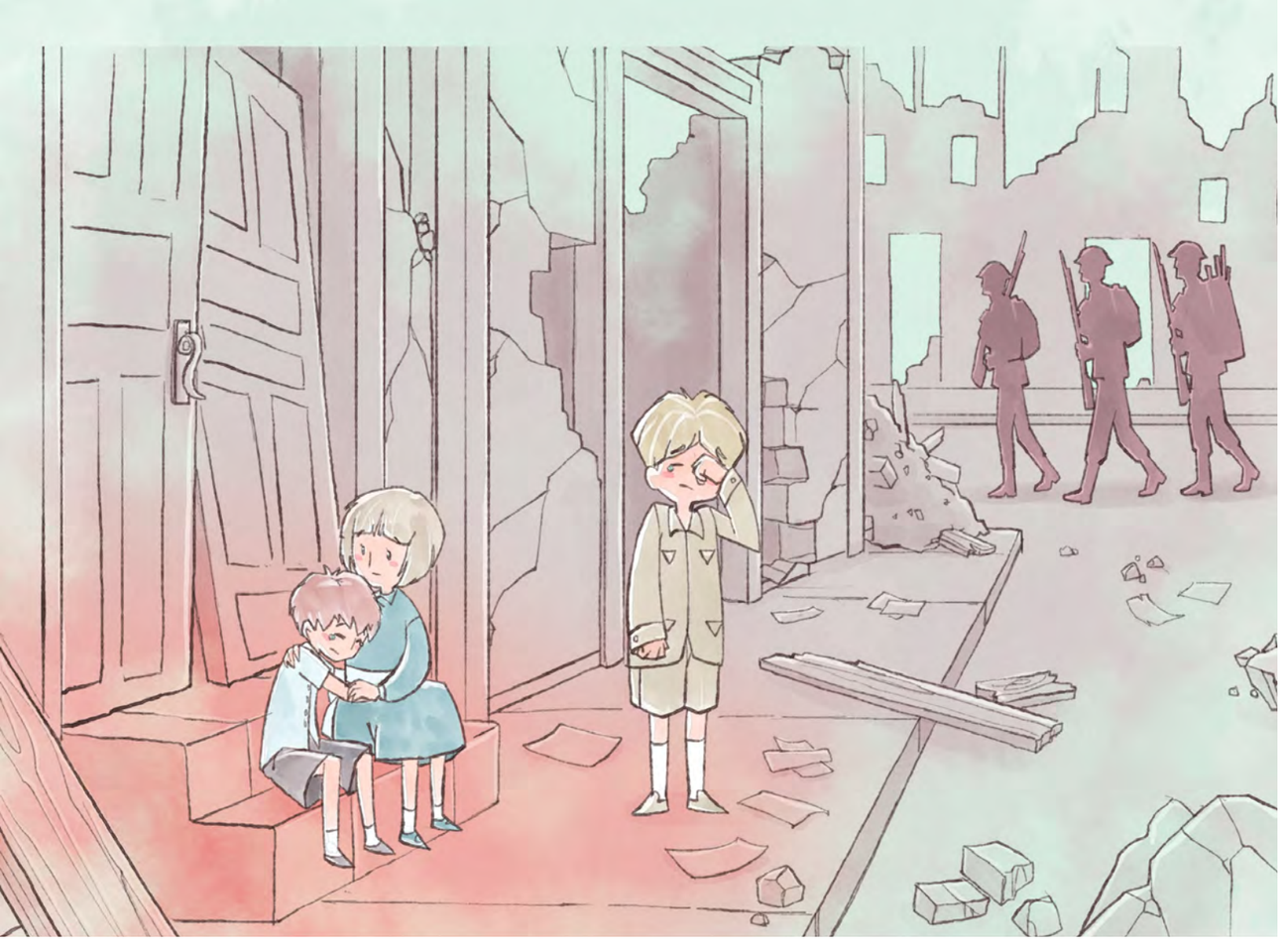
妹は、変化をもたらす最初の一歩は、
人々が、地元の新聞に載っているニュースだけでなく、
もっと幅広い情報を知ることだと確認していました。そして、世界中から、
さまざまな見解を持つ100あまりの新聞をロンドンに集めました。
私はフランス語とイタリア語の翻訳を手伝いました。







ドロシーは自分自身の新聞をスタートさせ、
『ケンブリッジ・マガジン』にも記事が掲載されました。
私たち二人は、戦争の被害者、特に子どもたちが受けた残虐な行為を
熟知していました。現実を直視し、子どもたちを助けることが
いかに重要であるかを、読者に気づいてほしかったのです。



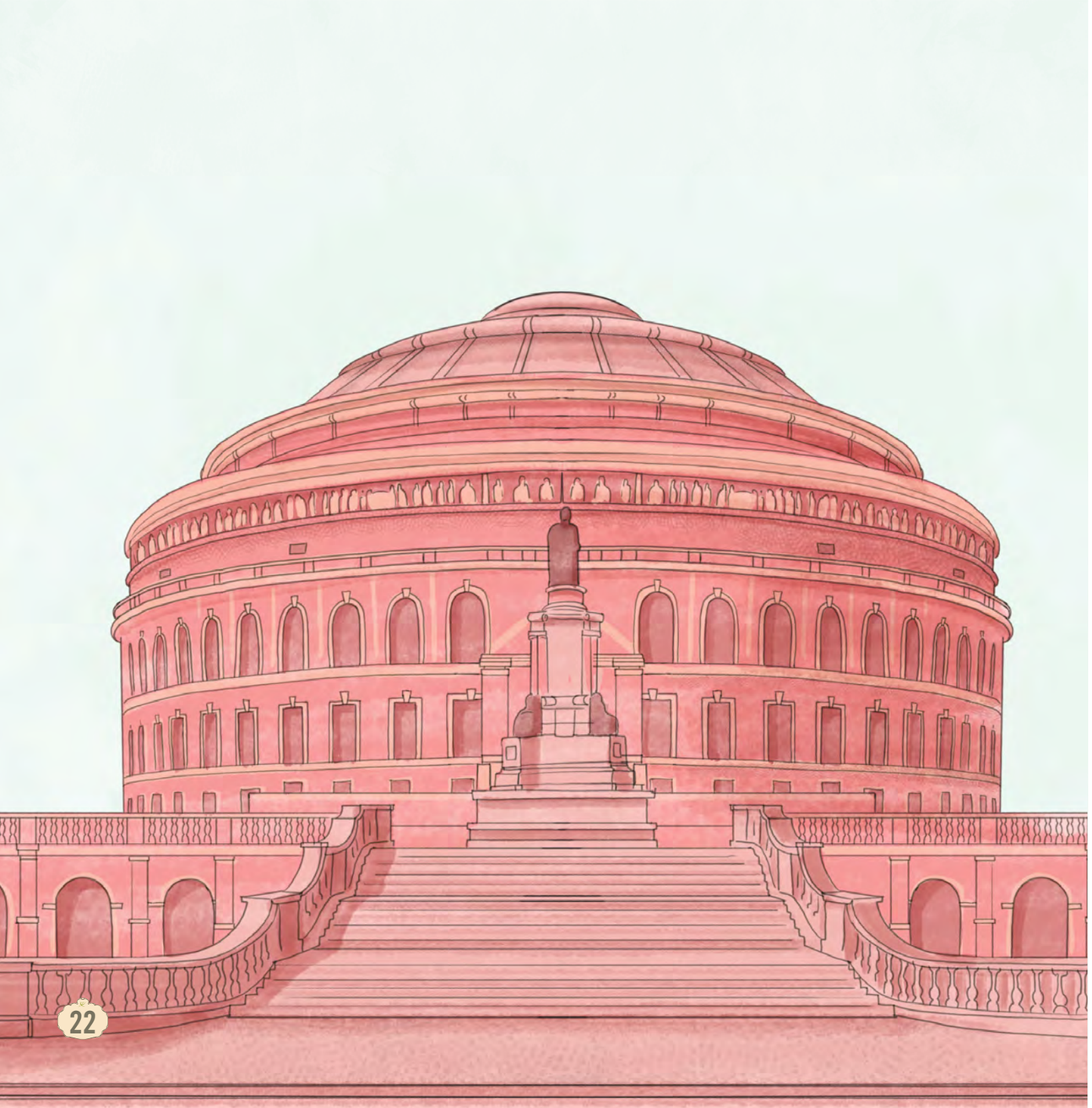
第一次世界大戦は 1918 年 11 月 11 日に終わりました。
それは４年３ヶ月と 14 日間続きました。1,000 万人が亡くなり、
主にロシア、セルビア、フランス、ベルギー、ドイツそして
アルメニアで、1,000 万人が家をなくして避難民となりました。
600 万の子どもたちが孤児となりました。

恐ろしい数です。この悲劇と戦わねばなりませんでした！
数日後、私はオーストリアの飢えた子どもたちの写真を載せた
ビラをロンドンの街頭で配りました。
それにより私は警官に逮捕されてしまいました。

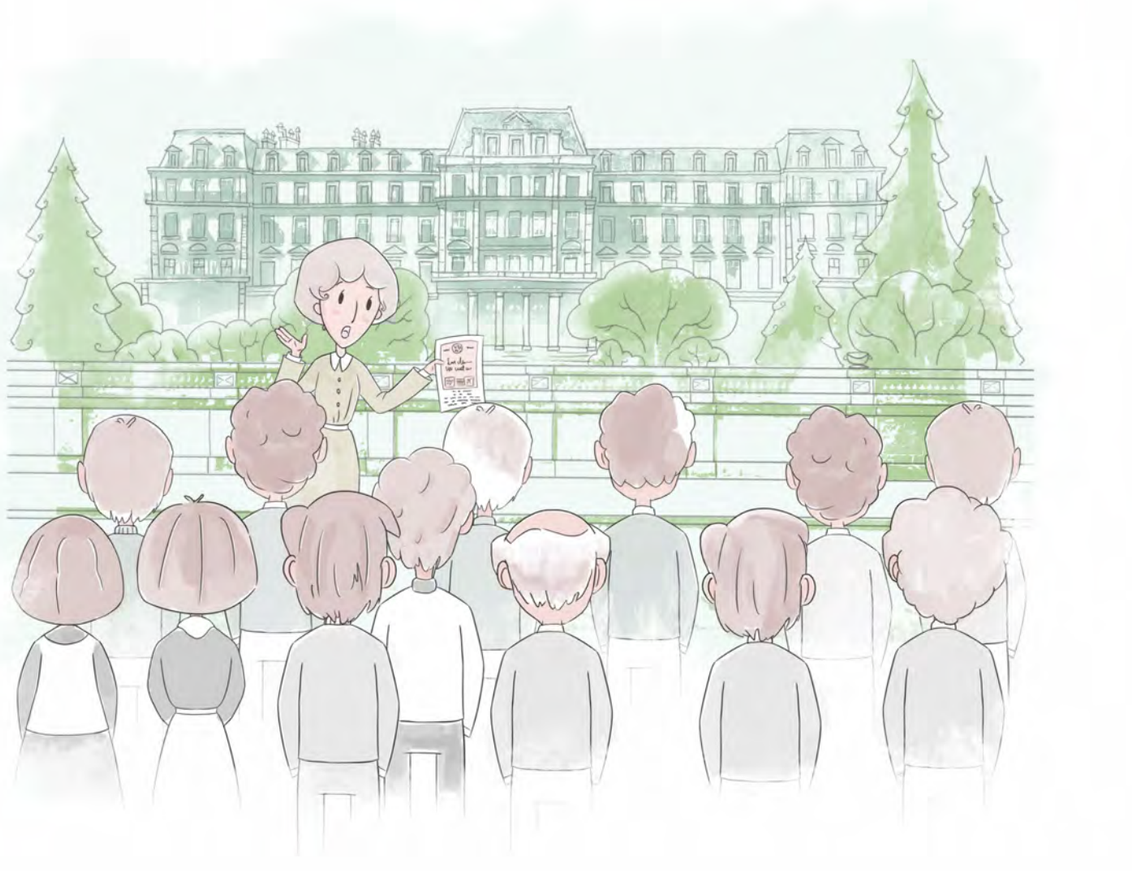


私は判事に、子どもたちはとても弱っているので、私たちの助けが
必要なのだと説明しました。私の説明に説得力があったので、
彼も子どもたちを助けるためにお金を寄付してくれ、
私を解放してくれました。

そのすぐ後に、妹は、最も深刻な被害を受けた国々の子どもたちを
支援することに関心を持つ人々を集めて、
かくしてセーブ・ザ・チルドレン基金が誕生しました。



1919年5月19日、ドロシーと私はロンドンの
ロイヤル・アルバート・ホールで大勢の聴衆を前に、
戦争の被害者である子どもたちを助けるのがなぜ重要かを訴えました。
敵国の子どもたちを助けようとしているので、
私たちを裏切り者呼ばわりする人たちも多くいました。
とても緊迫した状況で、聴衆の中には、腐ったリンゴを手にして、
私に投げつける機会をうかがっている者もいました。

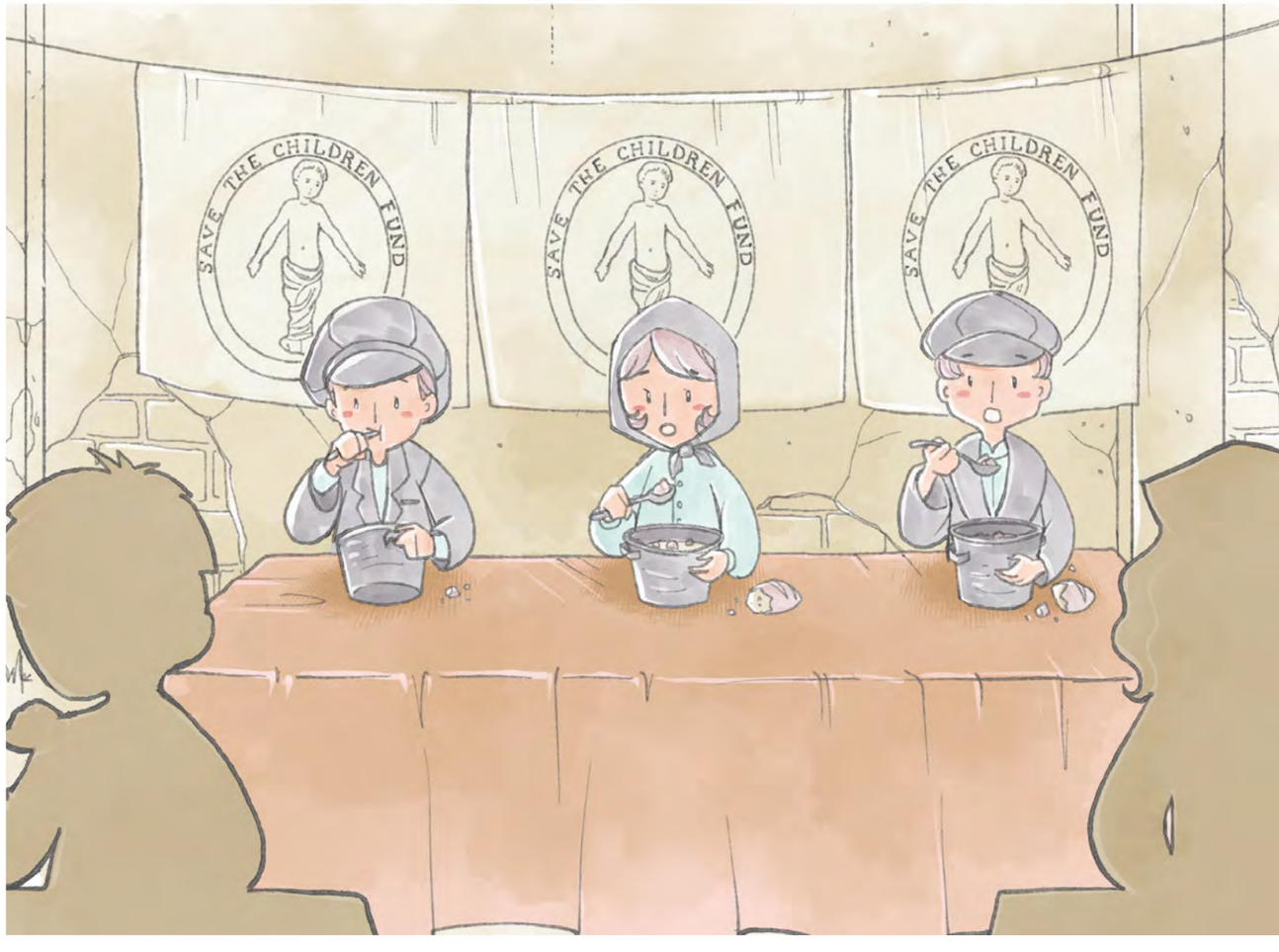


しかし、私の言葉は、最後には彼らを納得させました。
「すべての戦争は、子どもたちに対する戦争なのです」

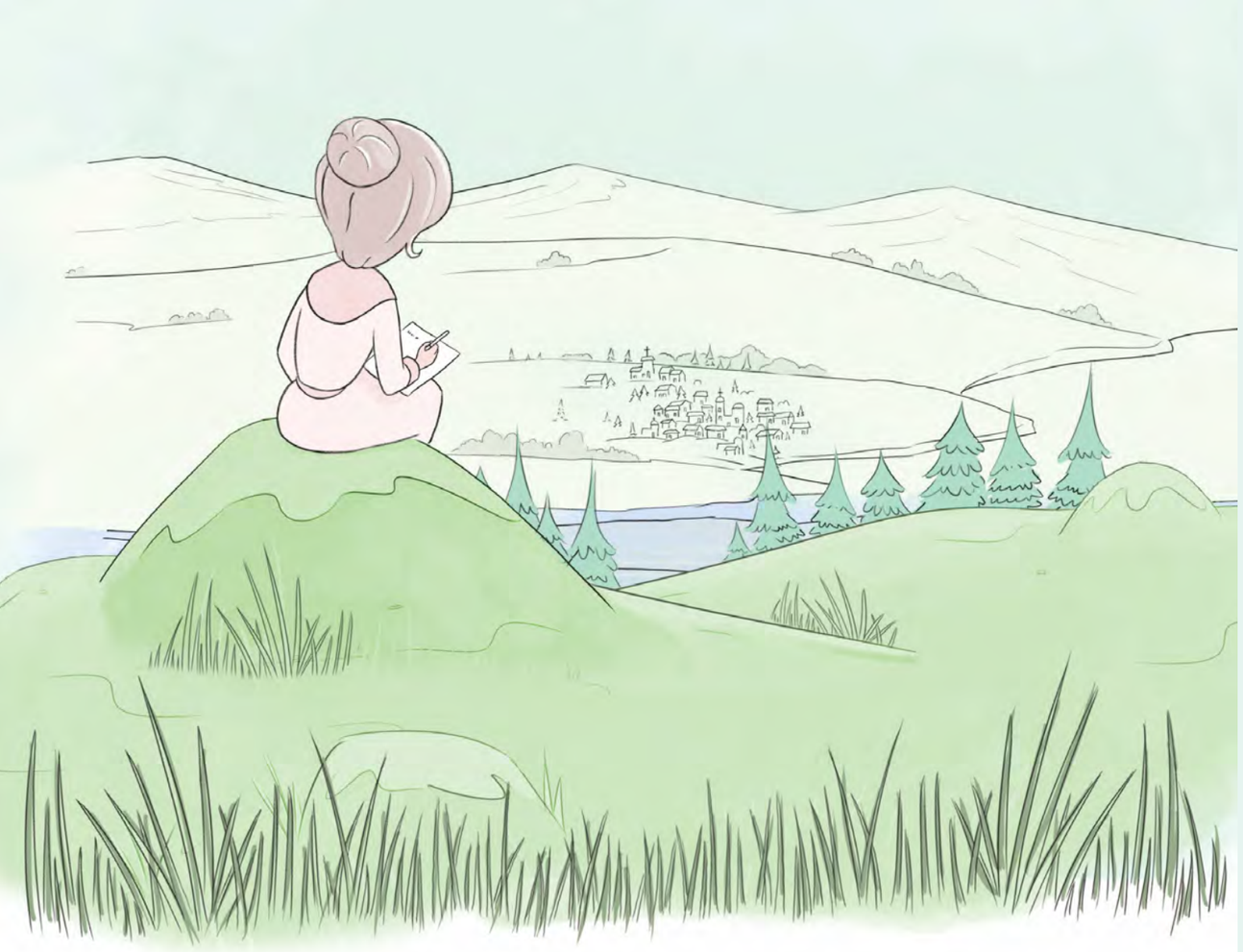
その日、私たちは１万ポンド（約１万3,000米ドル）を集めるのに成功しました。大変な額のお金で、オーストリアと、ドイツの首都ベルリンの子どもたちに配る食料を購入しました。
私たちはスコットランドで最初の事務所を開設しました。
それから、多くの人が、セーブ・ザ・チルドレンを知るようになりましたが、私たちの活動を世界的なものにするためには、もっと努力しなければならないと感じました。

そこで私は1920年1月にスイスのジュネーブに出かけ、
セーブ・ザ・チルドレン世界連盟を設立しました。
私たちは今では、戦争の被害にあった子どもたちだけではなく、
支援を必要とするすべての子どもたちを助けています。





1921年、ロシアでボルガ地方大飢饉という新たな危機が起こりました。
私たちは何千もの人たちを支援し、命を救いました。
しかし、私は、その努力は十分とは言えなかったと主張しました。



1922年のある日の午後、私はジュネーブのサレーブ山に登りました。気持ちがとても動かされ、ある文章を書き始めました。その文書は、1923年に「子どもの権利宣言」という名で発表されることになります。



1年後、その宣言は第5回国際連盟総会という大変重要な場で採択されました。



「私たちは、子どもの持つ権利を当然のこととして主張し、
それが世界中で認知されることを目指して活動します」





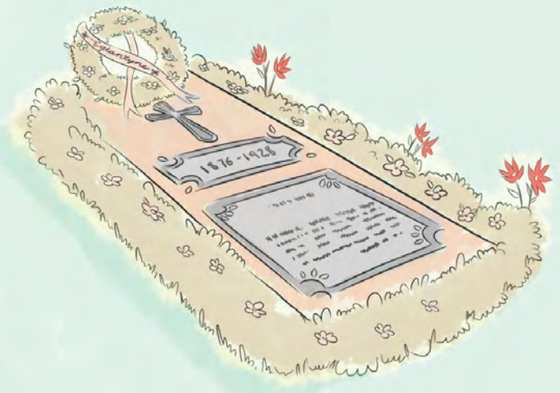
セーブ・ザ・チルドレンは一生懸命に
活動しました。
1925年には、ブルガリアとアルバニアに、
難民のための村を作りました。

ハンガリーでは、若者に職業訓練を
実施しました。小さな炎として始まったものが
子どもたちの明るい希望の光へと
育ちましたが、まだ、ヨーロッパ以外を
照らす光ではありませんでした。

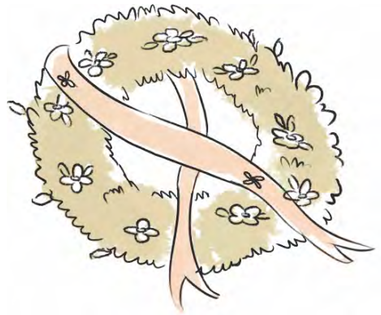
ヨーロッパよりもアフリカとアジアに、
支援を必要とする子どもたちが
もっといるだろうと考え、
彼らを支援する計画を進めました。



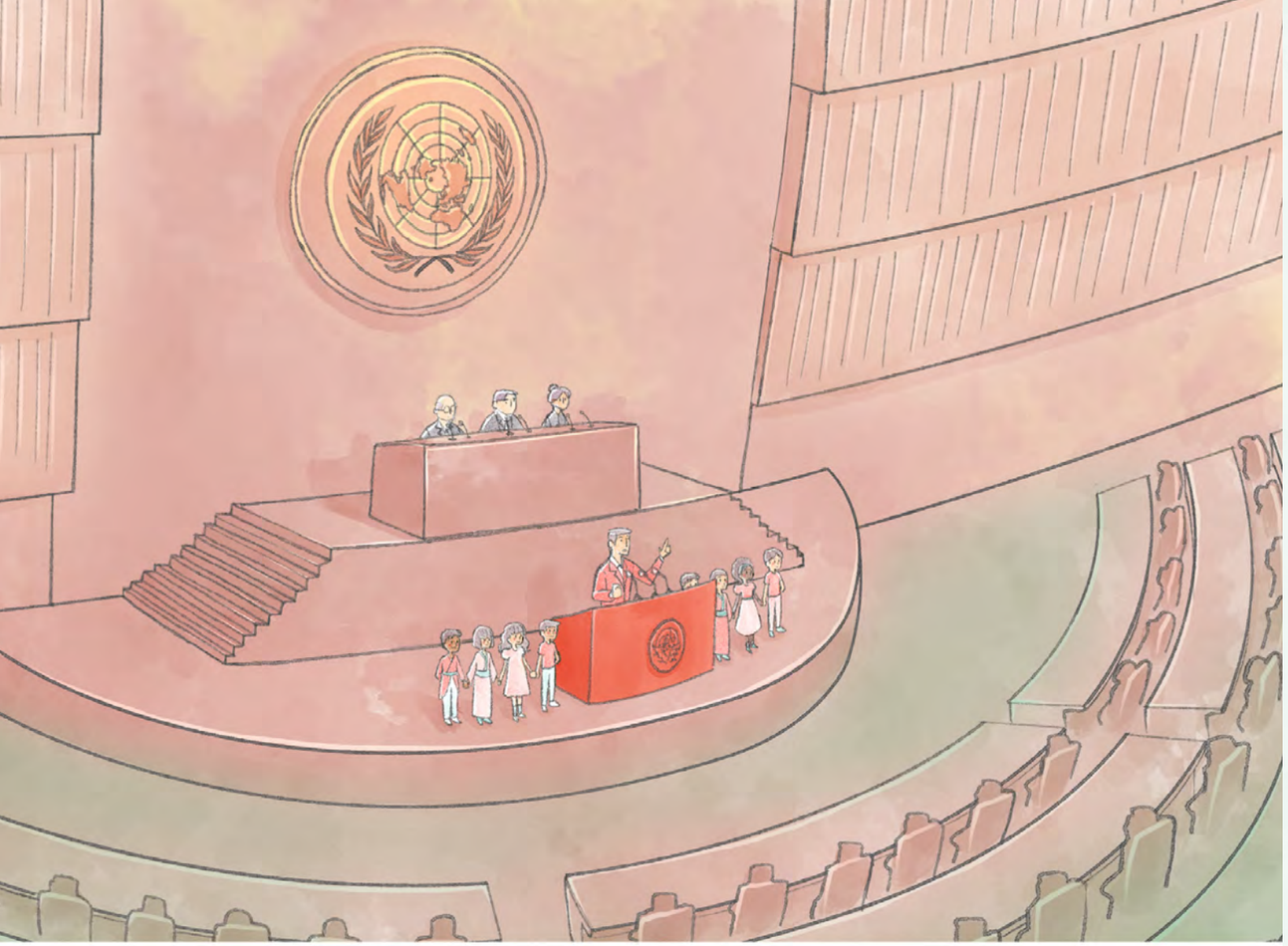
「ヨーロッパよりもアジアとアフリカで、
より多くの子どもたちが苦しんでいるのは
明らかです。十分な資金が集まり次第
これらの国でも活動を始め、
私たちの思いを世界に示しましょう」



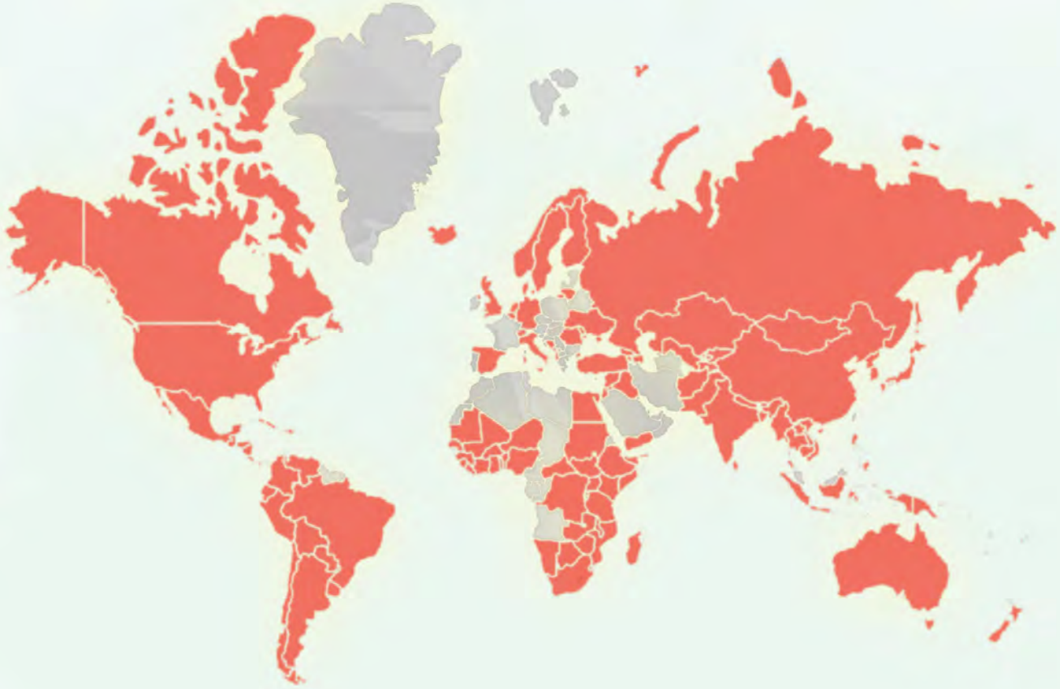
しかし、私の生涯は終わりを迎え、1928年12月17日、
私は永遠の眠りにつき、ジュネーブの墓地に埋葬されました。



妹のドロシーは、1963年に亡くなるまで、
人々を助けることに身を捧げました。



私の残した宣言は、1959 年に国連が私の原案をもとにした
新しい子どもの権利宣言を採択したことにより認知され、
その後 1989 年 11 月 20 日に、「子どもの権利条約」として
採択されました。現在、多くの国と地域が批准しています。



現在、セーブ・ザ・チルドレンは 5 大陸約 120 ヶ国で活動しており、
何百万人もの子どもたちが健康で教育を受け、
安全でいられるよう支援してきました。



人類を取り巻く闇の中で、私たちは無力感にかられるかもしれません。
でも、私たちは一人ひとりが光です。
個々ではわずかな明るさかもしれませんが、力を合わせれば
その光はますます明るくなるのです。



さあ、もう一度ろうそくを見つめてください。そして、心に宿った
その光が消えないよう大事にすると約束してください。
そうすればそれは世界を明るく照らす、明るい白熱の炎となります。



もし信じない人がいたら、私の話をしてあげてください。



「人生で成功するためには、人生を捧げねばなりません。」

－エグランタイン・ジェブ－

Glossary:

用語集

子どもの権利条約：1989 年 11 月 20 日に国連で採択された条約。すべての子どもの生きる、育つ、守られる、参加する権利を定め、法的に守り、実行できるようにつくられた権利条約。発達途中にある子どもの特性に配慮しながら、子どもを一人の人間、権利の主体としてとらえている。

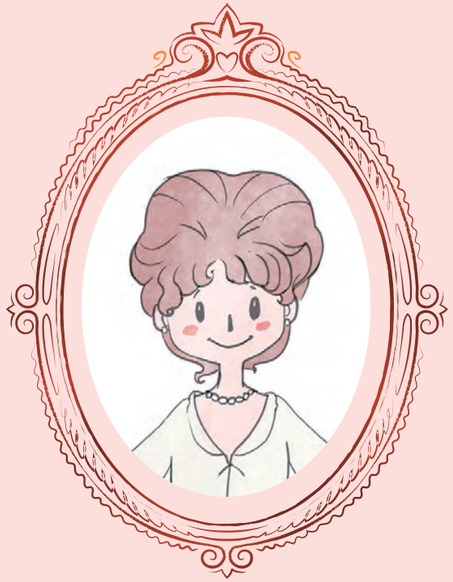
子どもの権利宣言：子どもの権利を守ることを目的に、1959 年に国際連合で採択された書類。

戦争：複数の国または勢力間の武力衝突。

バルカン戦争：1912 年から 1913 年にかけて、バルカン同盟（ブルガリア、ギリシャ、モンテネグロとセルビア）とオスマン帝国との間で発生した武力衝突。

第一次世界大戦：1914 年 7 月 28 日に始まり 1918 年 11 月 11 日に終結。連合国と同盟国双方の 32 ヶ国が参戦。

国際連合：国際法、国際平和と安全保障、経済・社会発展、人道問題そして人権といった諸問題についての協力を促進する世界的な政府連合体。1945 年 10 月 24 日設立。








RS